

二 鉄道

JRの高徳線で、高松―志度間が開通したのは大正十四年(一九二五)八月一日で、全線開通は昭和十年(一九三五)三月二十日である。本町に汽車が通るようになったが、残念ながら停車駅は一つもなく、交通事故の発生と、ばい煙、騒音などの被害で、沿線住民の大部分は高松に出る場合は利用できず、むしろ迷惑がっていた。

昭和三十六年(一九六一)九月一日に待望の八栗口駅が開業、昭和六十一年(一九八六)十一月一日には讃岐牟礼駅も開業、ようやく通勤・通学に利用できるようになった。また、高松北高校の誘致開校にも一役買い現在に至っている。

琴電志度線の開通はJRよりも古く、明治四十四年(一

九一二)十一月十八日である。当初は讃岐電鉄であったが、大正五年(一九一六)四国水力の経営となり、それまでの人力車、乗合馬車に代わって大量輸送、定時発着は社会生活の近代化の先端をいった。戦時中の企業整備により昭和十八年(一九四三)十月から、高松琴平電鉄となり現在に至っている。しかし、戦時下の政策で、八栗―志度間が昭和二十年(一九四五)一月二十六日から運転休止、線路は撤去されたが、二十四年(一九四九)十月九日、運転が再開され今日に至っている。駅が多いため住民の身近な交通機関となっている。

八栗登山鉄道は昭和六年(一九三一)二月十五日に開業し、八栗寺参りの人々を運んだが、この鉄道も昭和十九年(一九四四)線路が撤去されて休業、昭和三十九年(一九六四)十二月二十八日に再開した。

JR、ことでの利用状況

平成15年度1日当たりの利用人員

駅	JR	ことでん
八栗口	353	
讃岐牟礼	282	
八栗		1,448
六万寺		852
大町		423
八栗新道		230
徳屋		115
房前		96
原		209
合計	635	3,373

※ 数値はJRが乗車人員、ことでは降車人員

(資料：JR四国、高松琴平電気鉄道)